

Nomura online seminar

# 野村サステナビリティ・ウィーク 2024

～野村グループがお届けするサステナビリティ最前線～

2024年9月9日(月)～19日(木)



サステナビリティ・ウィーク

拝啓

日頃は格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

さて弊社は、2024年9月9日(月)～19日(木)にかけて、野村グループのサステナビリティの取り組み、サステナビリティに関連した様々なリサーチをご紹介するセッションを、下記要領にて開催することといたしました。昨年までの1日の「サステナビリティ・デー」から内容を一層充実させ、2週間の「サステナビリティ・ウィーク」として開催いたします。

9月9日(月)に、サステナビリティ関連ビジネスを含む野村グループのサステナビリティに関する取り組みを幅広くご紹介するセッションをはじめとして、脱炭素やインパクト投資、人的資本など、サステナビリティに関連する各分野のリサーチをご紹介する予定です。

ご多忙中とは存じますが、皆様のご参加を、弊社スタッフ一同、心からお待ち申し上げます。

セッションにご出席頂ける場合は、大変お手数ではございますが情報のご登録をお願いいたします。

※本セッションは、すべてバーチャル会議での開催を予定しております。

敬具

野村ホールディングス株式会社 執行役員 コンテンツ・カンパニー長、サステナビリティ兼金融経済教育管掌  
野村證券株式会社 代表取締役副社長  
鳥海 智絵

【日時】	2024年9月9日(月)～2024年9月19日(木)
【お申し込み】	登録が必要です。お申し込みフォームが2つに分かれておりますのでご注意ください。 <b>【野村グループのサステナビリティへの挑戦】</b> 2024年9月9日(月) 13:00-14:45 <a href="https://krs.bz/nomura-ir/m/nhiesg2024ja">https://krs.bz/nomura-ir/m/nhiesg2024ja</a> <b>【野村グループがお届けするサステナビリティ最前線～】</b> 2024年9月10日(火)～2024年9月19日(木) <a href="https://krs.bz/nomura-ir/m/nscesg2024j1a">https://krs.bz/nomura-ir/m/nscesg2024j1a</a> ※アクセス情報は、ご登録頂いたメールアドレス宛にお送りさせていただきます。
【プログラム】	次ページ以降をご覧ください。 ※プログラム内容は予告なく変更になることがあります。

【スケジュールとテーマ】

2024年9月9日(月)	
	サステナビリティ
13:00-14:45	野村グループのサステナビリティへの挑戦

2024年9月10日(火)	
	地政学リスク
13:30-14:15	地政学リスクとESG ※1
	ESG ファンド評価
14:25-14:55	ファンドを中心とした ESG 評価 ～ESG レーティングのご紹介～ ※1 ※2
	ESG 規制とインパクト投資
15:05-15:35	豪州投資家の視点による、ESG 規制とインパクト投資のトレンド ※1

※1 9月10日の上記3セッションは「第72回 野村年金マネジメント研究会セミナー」とのタイアップとなります。

「第72回 野村年金マネジメント研究会セミナー」は野村アセットマネジメント株式会社が協賛しております。

※2 「ファンドを中心としたESG評価 ～ESGレーティングのご紹介～」では、商品等の勧誘を行う場合があります。

2024年9月11日(水)	
	総合インフラサービス企業
11:00-11:45	インフロニアグループの総合インフラサービス戦略と、再生可能エネルギー事業の位置づけ
	GX
13:30-14:10	GX への取り組みと削減貢献量開示による企業価値向上
	ネガティブエミッション
14:30-15:10	パネルディスカッション：地球温暖化対策の切り札、ネガティブエミッション技術の現状と今後について
	脱炭素社会に向けた行動変容
15:30-16:10	パネルディスカッション：脱炭素社会の実現に資する「消費者」の行動変容を狙ったサービス

【スケジュールとテーマ】

2024年9月17日(火)	
10:40-11:20	人口減少下での成長戦略 パネルディスカッション：人口1億人割れ時代を見据えた企業の成長戦略
14:30-15:10	衣料品循環 服は捨てない時代へ～アパレル業界の衣料品循環の取り組み～

2024年9月18日(水)	
13:30-14:15	インパクト評価と企業価値 非財務情報価値インパクトの定量化と企業価値評価への反映方法・課題と可能性
14:30-15:15	農業分野の脱炭素とインパクト 農業分野の脱炭素とインパクトスタートアップ
15:30-16:15	フード・アグリテック Discovery In Path Forward of Food & Agri-tech Innovation

2024年9月19日(木)	
10:00-10:40	従業員へのエンゲージメント 「従業員サーベイ」をサーベイする
11:00-11:40	サイバーセキュリティ 金融資本市場で押さえるべきサイバーセキュリティの論点
13:30-14:00	SX 銘柄 価値創造経営・SX 銘柄
14:15-14:45	SX 銘柄 2024 富士フイルムグループのサステナビリティ グループパーパス「地球上の笑顔の回数を増やしていく。」の実現のために
15:00-15:30	SX 銘柄 2024 味の素グループのサステナビリティの取り組み ～ASV 経営の進化による企業価値向上～

**【各セッションのテーマと概要】**

2024年9月9日

サステナビリティ	9/9(月) 13:00-14:45
----------	--------------------

**野村グループのサステナビリティへの挑戦  
(野村グループのサステナビリティに関する取り組みのご紹介)**

野村ホールディングス 執行役員 コンテンツ・カンパニー長、サステナビリティ兼金融経済教育管掌 鳥海 智絵  
 野村ホールディングス 執行役員 チーフ・サステナビリティ・オフィサー兼情報開示担当 岸田 吉史  
 野村アセットマネジメント CEO 兼代表取締役社長 小池 広靖  
 Nomura International plc Head of Sustainable Finance (ex-Japan), Managing Director Jarek Olszowka  
 社会を取り巻く環境が大きく変化する中、サステナブルな社会の実現に向けた取り組みに対する期待は引き続き高い水準にあります。野村グループでは、「金融資本市場の力で、世界と共に挑戦し、豊かな社会を実現する」というパーパスのもと、サステナブルな社会の実現に向けた様々な取り組みを進めています。本セッションでは当社の取り組みと、サステナブル・ファイナンス、イノベーション創出、責任投資といった野村グループの事業活動をサステナビリティのアンゲルからご紹介します。

2024年9月10日

第72回 野村年金マネジメント研究会セミナー

地政学リスク	9/10(火) 13:30-14:15
--------	---------------------

**地政学リスクと ESG ※**

コンサルティング会社「合同会社アイ・アール・アイ」代表 飯塚 尚己 様  
 野村証券 市場戦略リサーチ部 チーフ・エクイティ・ストラテジスト 北岡 智哉  
 経済調査部 エコノミスト 棚橋 研悟  
 <モデレーター> 野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング  
 フィデューシャリー・マネジメント部 コンサルタント 高田 晴夏

資産運用に対して紛争や政局、様々な規制の変化が与える衝撃はますます顕著になっています。地政学リスクが企業のサプライチェーンや資源価格の安定性をゆるがし、また政治が「ESG」投資のあり方を左右している状況です。本セッションでは、米大統領選を控える中で、今後の地政学リスクとそれが ESG 及び資産運用にもたらす影響について、コンサルタント、株式ストラテジスト、エコノミストがそれぞれの立場から議論します。

ESG ファンド評価	9/10(火) 14:25-14:55
------------	---------------------

**ファンドを中心とした ESG 評価 ～ESG レーティングのご紹介～ ※**

野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング ファンド分析部 シニア・ファンド・アナリスト 越澤 一

当社では、2018 年度から運用機関やファンドを対象とした ESG 評価に取り組み、2022 年度からはファンドを対象に活用度とクオリティの 2 軸で評価する ESG レーティングを導入しました。このセッションでは、先ず、ESG 評価が組み込まれているファンド評価の定性評価体系についてご説明します。次に、ESG レーティングを中心に、直近のレーティング付与状況を含めて、ESG 評価の体系・プロセスをご説明します。その後、ESG 評価の事例として、実際の評価コメントをご紹介します他、近年における ESG 評価のトピックスを取り上げ、ファンド・アナリストとしての見解をお示します。

このセミナーでは、商品等の勧誘を行う場合があります。



ESG 規制とインパクト投資

9/10(火) 15:05-15:35

**豪州投資家の視点による、ESG 規制とインパクト投資のトレンド ※**

フロンティア・アドバイザーズ プリンシパル・コンサルタント、責任投資ヘッド ジョーイ・アルコック 様  
 フロンティア・アドバイザーズ コンサルタント、責任投資 トム・ランバート 様  
 フロンティア・アドバイザーズ・ジャパン合同会社 在日代表 高山 裕一 様  
 <モデレーター>野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング  
 フィデューシャリー・マネジメント部 コンサルタント 高田 晴夏

サステナビリティに関連する2つのトピックを取り上げ、投資家の視点を紹介します。  
 先ずは、標準化されたサステナビリティの開示と報告について、ISSB グローバル・サステナビリティ・レポーティング・スタンダードが日本を含む多くの国々において、どのような変化を促しているかを検証します。また、気候変動に関する報告義務の導入についてオーストラリアのこれまでの経験について説明します。  
 インパクト投資については、ESG 投資との違いについて説明します。また、投資家がポートフォリオの社会的・環境的影響を測定するようになってきていること背景や、一部の投資家が従来のリターン目標とは異なる目標や追加的な目標を設定するようになってきていることについてその背景を検証します。

※ 9月10日の上記3セッションは「第72回 野村年金マネジメント研究会セミナー」とのタイアップとなります。  
 「第72回 野村年金マネジメント研究会セミナー」は野村アセットマネジメント株式会社が協賛しております。

2024年9月11日

総合インフラサービス企業

9/11(水) 11:00-11:45

**インフロニアグループの総合インフラサービス戦略と、再生可能エネルギー事業の位置づけ**

インフロニア・ホールディングス株式会社 経営戦略部長 古川 建作 様  
 インフロニア・ホールディングスでは、インフラを取り巻く社会課題を解決するために、道路や上下水道、スタジアムなど様々なインフラの投資を含めた企画提案・設計の段階から、建設そして運営・維持管理までワンストップまでマネジメントする「総合インフラサービス企業」への変革に挑戦しています。  
 再生可能エネルギー事業は成長戦略の核となる事業の一つであり、2024年1月には風力発電事業のリーディングカンパニーである日本風力開発を完全子会社化しました。  
 カーボンニュートラル実現に向けて、今後ますますグリーン電力の必要性は高まっていくものと認識しており、風力発電事業を上流から下流まで一貫通貫で実行できる唯一無二の企業グループとしての取り組みや今後の展望についてご紹介します。

GX

9/11(水) 13:30-14:10

**GX への取り組みと削減貢献量開示による企業価値向上**

パナソニックオペレーショナルエクセレンス株式会社 品質・環境本部 本部長 楠本 正治 様  
 野村証券 エクイティ・リサーチ部 エレクトロニクスチーム・ヘッド 岡崎 優  
 <モデレーター>野村証券 サステナブル・イノベーション事業開発グループ 濟木 ゆかり  
 パナソニックホールディングスにおける削減貢献量の算定・開示の取り組みをご紹介頂くとともに、野村証券のエレクトロニクス業界担当アナリストが削減貢献量をどのように評価しているのか、を議論します。また、パナソニックホールディングスおよび野村ホールディングスが共にリーダー企業を務めているGXリーグ経営促進ワーキンググループにおける削減貢献量に関する取り組みをご紹介し、事業会社による開示や金融機関による評価の現在地を確認します。

**ネガティブエミッション**

9/11(水) 14:30-15:10

**パネルディスカッション: 地球温暖化対策の切り札、ネガティブエミッション技術の現状と今後について**

清水建設株式会社 技術研究所 建設基盤技術センター 資源循環グループ グループ長 小島 啓輔 様  
 国立研究開発法人海洋研究開発機構 地球環境部門 北極環境変動総合研究センター

北極観測技術開発グループ グループリーダー 吉田 弘 様

<モデレーター>野村證券 フロンティア・リサーチ部 シニア・リサーチャー 横山 恭一郎

地球沸騰化が進みつつある今、CO2 排出量を削減するだけでなく、CO2 排出量をマイナスにする、ネガティブエミッション技術(NET)の重要性が増えています。

数多くある NET の中においても、海洋やコンクリートを用いて CO2 を回収する、あるいは固定化する技術が近年注目を集めており、それらの技術の専門家である両氏をお招きして、NET の現状と今後について、様々な観点から議論を深めます。

**脱炭素社会に向けた行動変容**

9/11(水) 15:30-16:10

**パネルディスカッション: 脱炭素社会の実現に資する「消費者」の行動変容を狙ったサービス**

株式会社 bajji 代表取締役 小林 慎和 様

株式会社エナリス 執行役員 事業企画本部 本部長 兼 みらい研究所 所長 小林 輝夫 様

<モデレーター>野村證券 フロンティア・リサーチ部 シニア・リサーチャー 長谷川 哲也

脱炭素社会の実現には、GHG 排出量の削減や環境配慮製品の販売など企業の活動だけではなく、消費者個人々の意識改革や活動も必須です。ただし、多くの消費者は自身の活動が脱炭素社会に向けてどれほど影響を与えるかを把握できずにいます。

デジタル技術を活用することで、自分の活動の影響を把握できるようにする取組みがあります。また、再生可能エネルギーだけで製造した商品であることを保証すると共に、商品購入者が脱炭素への活動に貢献したことを証明する取組みもあります。消費者を巻き込みながら脱炭素社会の推進を目指すサービスを手掛ける 2 社を招き、ディスカッションします。

2024年9月17日

**人口減少下での成長戦略**

9/17(火) 10:40-11:20

**パネルディスカッション: 人口 1 億人割れ時代を見据えた企業の成長戦略**

野村證券 市場戦略リサーチ部 チーフ・エクイティ・ストラテジスト 北岡 智哉

野村證券 市場戦略リサーチ部 チーフ・マーケット・エコノミスト 岡崎 康平

<モデレーター>野村證券 フロンティア・リサーチ部 シニア・リサーチャー 西川 拓

世界に先駆けて人口減少・高齢化社会を迎える日本においては、いよいよ本格的に労働力不足が企業経営にマイナスインパクトを与え始めようとしています。

ジリジリと人口減少・高齢化が進む中で持続的な成長を遂げるための、値上げ、賃上げ、AI/DX の導入による業務効率化など、労働力不足への企業の対抗策と、それらをマクロから見た影響などをストラテジストとエコノミスト、未上場企業のリサーチャーでディスカッションを交わします。

**衣料品循環**

9/17(火) 14:30-15:10

**服は捨てない時代へ～アパレル業界の衣料品循環の取り組み～**

株式会社 ECOMMIT 代表取締役 CEO 川野 輝之 様  
野村証券 エクイティ・リサーチ部 消費チーム・ヘッド 山岡 久紘  
<モデレーター>野村証券 フロンティア・リサーチ部 シニア・リサーチャー 杉本 佳美

EU では、売れ残った衣料品の廃棄を禁じる法律が 2025 年にも施行され、服を捨てない衣料品循環に向けた取り組みが本格化しつつあります。海外の動向を踏まえて、日本でも経済産業省主導で繊維製品における資源循環の仕組み構築に向けた議論が始まっています。

当セッションでは、スタートアップ ECOMMIT 社から日本での衣料品の循環における取り組みを紹介しつつ、スタートアップ・未上場企業を調査する杉本、上場小売・アパレルを調査する山岡と共に、今後のアパレル産業ではこういった取り組みが進むか、議論します。

2024年9月18日

**インパクト評価と企業価値**

9/18(水) 13:30-14:15

**非財務情報価値インパクトの定量化と企業価値評価への反映方法・課題と可能性**

カディラキャピタルマネジメント株式会社 代表取締役 チーフインベストメントオフィサー 清水 裕 様  
野村証券 クオンツ・ソリューション・リサーチ部 クオンツアナリスト 倉持 純太  
野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター長 江夏 あかね  
<モデレーター>野村証券 金融工学研究センター長 太田 洋子

インパクトを定量化して企業価値評価に組み込む2つの手法を紹介し、各々の特徴や課題、この先の可能性について議論します。まず、カディラキャピタルマネジメントが、上場企業のサステナビリティ情報からインパクトを金額評価し、将来キャッシュフローに反映させた上で現在価値に割り引いて企業価値を求めるボトムアップ・アプローチを紹介します。続いて、野村証券のクオンツアナリストが、株価に内包されたインパクトを推計するトップダウン・アプローチによって、業種横断でインパクトを可視化します。サステナビリティ情報を活用した投資判断、あるいは事業会社の情報開示やエンゲージメント対応に有効となる実践的な情報提供を目指します。

**農業分野の脱炭素とインパクト**

9/18(水) 14:30-15:15

**農業分野の脱炭素とインパクトスタートアップ**

株式会社 TOWING 代表取締役 西田 宏平 様  
サグリ株式会社 代表取締役 CEO 坪井 俊輔 様  
野村証券 フロンティア・リサーチ部 シニア・リサーチャー 長谷川 哲也  
<モデレーター>野村証券 サステナブル・イノベーション事業開発グループ 太野 敦幸

深刻化する地球温暖化に対して、農業分野の脱炭素化はますます大きなテーマとなっている中、「社会・環境的課題の解決」と「持続的な経済成長」を目指すインパクトスタートアップとして注目される株式会社 TOWING とサグリ株式会社の先端テクノロジー並びにそれで創出できるインパクトについて紹介します。特に、野村グループが最先端のインパクトスタートアップ2社と実施した実証事業の最新状況も報告します。インパクトスタートアップの事業成長やそれに伴うインパクト投資の発展による社会課題の解決方法、品質への関心が高まっているカーボンクレジットにおける事業機会などを2社の代表を交えてディスカッションします。

フード・アグリテック

9/18(水) 15:30-16:15

## Discovery In Path Forward of Food & Agri-tech Innovation

Upside Foods Inc., COO Amy Chen 様

Inari Agriculture, Inc. CEO & DIRECTOR Ponsi Trivisvavet 様

<基調講演・Upside Foods モデレーター>

野村証券 フード&アグリビジネス・コンサルティング部 アドバイザリーグループ長 佐藤 光泰

<Inari Agriculture モデレーター>

野村証券 フード&アグリビジネス・コンサルティング部 石井 佑基

フード&アグリ産業は意外にも環境負荷が大きな産業で、畜産品の製造や、化学肥料や水の大量使用、森林破壊などが問題視されています。

そうした中で、最新技術を活用して培養肉などの代替タンパク質や、遺伝子工学を活用した高速育種など、食料供給と自然環境の保全を両立しようという動きがあります。これらを背景として、フードテック分野でもユニコーン企業となるスタートアップが出現しました。

F&ABC 部では、こうした「フード&アグリテックユニコーン」を長年追っている知見とネットワークを踏まえ、著名なフード&アグリテックユニコーンの経営者と共に食料供給産業の安定化について議論します。

2024年9月19日

従業員へのエンゲージメント

9/19(木) 10:00-10:40

## 「従業員サーベイ」をサーベイする

野村資本市場研究所 主任研究員 西山 賢吾

各社が実施している「従業員満足度調査」などの「サーベイ」で、1.企業は何を知ろうとしているのか、2.サーベイの結果何が浮き彫りとなったか、3.企業はそれらの課題にどう対応し、4.どう企業価値向上につなげていこうとしているのか。各社のサーベイ結果(開示資料)を「企業(経営陣)、従業員、投資家にとって有益かどうか」という観点から分析し、各社のサーベイの「本気度」を探る予定です。

サイバーセキュリティ

9/19(木) 11:00-11:40

## 金融資本市場で押さえるべきサイバーセキュリティの論点

情報セキュリティ大学院大学 教授 藤本 正代 様

野村アセットマネジメント 債券サステナブル・インベストメント・ヘッド ジェイソン・モーティマー

<モデレーター>野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター長 江夏 あかね

サイバーリスクが企業価値、金融資本市場、経済社会全体、そして人々の生活にも甚大な影響を及ぼすようになっていきました。こうした状況を鑑み、野村資本市場研究所では、学識者及び実務経験者等により構成される「サイバーセキュリティと投資・金融関連制度に関する研究会」を設立し、2023年7月から2024年4月にかけて、企業経営、ガバナンス、情報開示、投資、評価、金融商品、金融規制、人材育成等、幅広い観点から研究報告及び議論を行いました。本セッションでは、最新の研究成果を公表するとともに、投資家、企業、金融資本市場はサイバーセキュリティをどのように捉え、対応を進めるべきか、処方箋を示します。



<b>SX 銘柄</b>	<b>9/19(木) 13:30-14:00</b>
--------------	----------------------------

### 価値創造経営・SX 銘柄

経済産業省 大臣 官房審議官(経済産業政策局担当) 河野 太志 様

経済産業省では、企業の持続的価値創造の実現に向けた取組の一環として、SX(Sustainability Transformation)を通じて持続的に成長原資を生み出す力を高め、企業価値向上を実現する先進的企業群を、「SX 銘柄 2024」として 15 社選定しました。

本ウェビナーでは、価値創造経営の実現に向けた経産省の取組、SX が求められる背景や重要性について、ご説明いたします。

<b>SX 銘柄 2024</b>	<b>9/19(木) 14:15-14:45</b>
-------------------	----------------------------

### 富士フイルムグループのサステナビリティ グループパーパス「地球上の笑顔の回数を増やしていく。」の実現のために

富士フイルムホールディングス株式会社

取締役 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 兼 ESG 推進部長 吉澤 ちさと 様

当社は、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「SX 銘柄 2024」に選ばれました。

当社がこれまで事業ポートフォリオマネジメントを通じて、ヘルスケアなどの領域にシフトするトランスフォーメーションを実現してきた点や、長期戦略・ビジネスモデル・目指す姿に整合性があり、DX 戦略や知財戦略にも積極的である点などが高く評価されました。

当社は、グループパーパス「地球上の笑顔の回数を増やしていく。」の実現に向けて、ヘルスケア・エレクトロニクス・ビジネスイノベーション・イメージングの全事業を通じて社会課題の解決に貢献することで、世界中の人々に幸せな笑顔が何度も訪れるよう、挑戦を続けていきます。

<b>SX 銘柄 2024</b>	<b>9/19(木) 15:00-15:30</b>
-------------------	----------------------------

### 味の素グループのサステナビリティの取り組み ～ASV 経営の進化による企業価値向上～

味の素株式会社 執行役常務 森島 千佳 様

味の素グループは ASV(社会価値と経済価値の共創)を基本とした中期 ASV 経営を推進中です。

2050 年を見据えた「味の素グループにとっての重要事項(マテリアリティ)」を踏まえ、ネガティブインパクトの削減を着実に推進しつつ、社会に対してポジティブなインパクトを創出する取り組みを加速してきています。

味の素グループの競争力の源泉でもあるアミノサイエンス®をベースとした ASV の最大化に向けたサステナビリティの取り組みをご紹介します。

※プログラム内容は予告なく変更になることがあります。